

令和3年度 第1回大津町公立保育等再編検討委員会 議事録

- 開催日時 令和3年10月14日(木) 10:30～
- 会場 大津町役場1階「多目的室」
- 出席委員 佐方委員(委員長) 関委員(副委員長) 家入委員 太田委員
斎藤委員 坂本委員 澤田委員 高津委員 田川委員 永野委員
羽熊委員 備海委員 藤本委員 村上委員 矢野委員 山本委員
(計16名)
- 欠席委員 なし
- 傍聴者 1名
- 事務局 大隈子育て支援課長、郷子育て支援課審議員兼入園支援係長
木瀬入園支援係主事
- 次第
 1. 開会
 2. 委嘱状交付
 3. 自己紹介
 4. 副委員長の指名
副委員長に関委員を指名
 5. 議題
 - (1)「公立保育等再編基本方針」の策定について
 - (2)その他
 6. 閉会

■ 議題

(1) 「公立保育等再編基本方針」の策定について

【事務局より説明】別紙資料

〔委員長〕 何か質問はありませんか。

〔委員〕 公立の幼稚園については、定員割れが続いているということですが、町民としては、税金を投入してなぜ、他の幼稚園は定員が満たされているのに、公立は定員割れなのか疑問に思うと思う。先ほど質の高いとか言われますけども、それでは町民はなかなか納得しないと思うので、どうしたら定員を満たせるのか、定員割れの原因をお聞きしたいと思います。

〔事務局〕 説明の中でも申し上げましたけれども、定員割れの原因は、共働き世帯が増えたため、幼稚園の預かり時間では難しいということでございます。それが一番大きいと思います。あと、3、4、5歳児の受け皿については、満たされているということが原因でございます。

〔委員〕 今から園をどうしたら良いかじっくり議論させていただければと思います。

〔委員〕 今のお話についてですが、資料の3ページを見て頂ければと思います。やはり時代が変わってきている。制度が変わってきているというのが、まず一番です。今言ったように、ニーズが変わってきて、保護者の方の仕事をする時間が長くなってきているというのがありますが、大きいポイントとして、最近ですと、2015年の子ども・子育て支援新制度というのが出来ました。このところで、大津町も保育料の見直しを行っています。それまで公立幼稚園は、極めて低額で短い時間を預かるようなスタイルだったのですが、やはり、町民全体を考えたときに一部の保護者だけ安い保育料、幼稚園の費用をとというのは不公平感もあつたりするので、私立の幼稚園ともほぼ同じ費用負担へ2015年に見直しを図っています。そのあと2019年最近ですが、3歳児以上の幼児教育保育の無償化というのが安倍政権の中でありました。ここで3歳以上が無償化になりました。そうすると保護者は費用負担がないので、どちらを選ぶかということやはり保育時間が長く、そして、夏休みなども短い、若しくは、ほぼ無い保育園を保護者の方が選ぶようになってくるわけです。大津町内だけじゃなく、全国的に公立幼稚園のニーズというのは、時代とともに減ってきているのが現状かと思います。

〔委員長〕 現状についてお話ありがとうございます。ご意見等ありましたらお願いします。

〔委員〕 6ページに保育所の入所状況がありますが、こちらは、すべて認可の保育園だ

と思います。認可外の保育園について、現状を把握しているのか、また、どのように把握していこうと考えているのか教えて頂きたいと思います。

〔事務局〕認可外の現状につきましては、定員が多いところでは2園あります。1園については、保育士の確保の関係で定員の半分ぐらいの人数で運営されています。もう1園については大体定員ぐらい入っているところです。認可外につきましても連携をとりながら、特にコロナ禍でいろいろな情報を共有しながら、町としては一緒にやってきているところがございます。

〔委員長〕他にご質問等ありましたらお願いします。

〔委員〕まず全体的な感想というか印象として、他の市町村も同じように公立保育園、幼稚園の民営化というのは進んでいます。天草の方やこの辺でも菊池市、菊陽町さんも進んでいますけれども、やはり一番は子どもが減っているというのがありますけれども、財政負担の問題です。その解決策として民間に委譲したり、委託をしたりというようなことを行っております。今、大津町のお話を聞いて、やはり今それだけじゃなく、本当に子どものことを考えて、そして町全体のことを考えて計画をしていかなければと強く思っています。現状は、待機児童も減ってはきていますが、まだいる状況です。ただ人口減が少しずつ進んできているという中で、5年後10年後を見て子どもたちが、本当に安全で明るい施設の中で保育を受けることができるか、また例えば先ほど言ったように医療的ケア児の受入れが十分にできるような施設が町内に一つあった方がいいのではないかと、今も休日保育を大津保育園でしていただいています。そういったものをどうするか、大津町の人口は増えていると言っても3万5000人ぐらいのところなので、全ての園で実施するのは難しいということが実際ありますので、機能的な面を一つに凝縮する形で、住民にとって、子どもたちにとって将来的にいい施設ができるように、再編というマイナスのイメージがありますけれども、是非、プラスのイメージで将来に向かっていくような再編の計画を立てて頂きたいと思います。

〔委員長〕ありがとうございます。委員から子どもたち、住民のためにということで、再編の今後の姿は、何も決まっている訳ではないので、今後、どういった在り方がいいかということで、ゼロベースで議論できればと思います。子ども・子育て会議の中でもお話がありました。保育ニーズが変わったことありますが、保護者の方の相談の場がないというニーズのお話も聞けたので、そういったことへも心を寄せて議論できればと思います。他に、ご質問、ご意見等ありませんでしょうか。

〔委員〕次回の会議の時に、認可外保育園が2園あるということで今から企業型の保育園が、町に関係なく出来ていく可能性があると思いますので、現状を説明していただければ

と思います。

〔事務局〕認可外につきましては、実際は現在4園で、今後、もう1園オープンするところ。その内容につきましては、次の会議の時に資料をお出しさせていただきますので、よろしくをお願いします。

〔委員長〕他にありませんでしょうか。

〔委員〕これも次回の会議の時でもいいですが、今回の資料の最後に公立園の特性や目標についてあったと思いますが、現時点で、実際の公立園でどの様なことをされているのか現状を確認させていただきたいと思います。

〔事務局〕はい、次回準備します。

〔委員長〕他に何かありますか。特に無いようですので、次のその他に移ります。

(2) その他

〔事務局〕本日が第1回目で説明を聞いたばかりですので、後日でも結構ですので、「公立の保育園・幼稚園には、どんな役割があったらいいと思いますか？」という別紙を用意しております。ご意見がある方は、10月28日(木)までに、事務局までお願いします。